



3月の園だより

令和6年3月1日

目黒区立中央町保育園園長

日に日に寒さが和らぎ桜のつぼみが膨らみ始め、春の訪れを感じられる頃となりました。

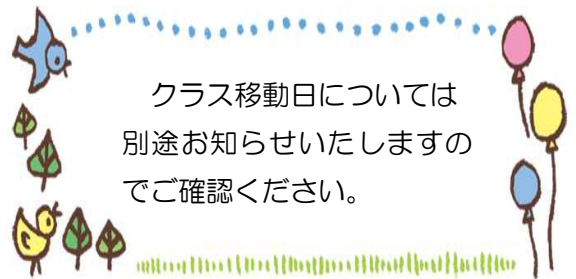
本日、ぽぷら組 23 名の子どもたちは無事に卒園式を迎えることができました。保護者の方々を前に緊張した表情の子どもたちでしたが、真剣なまなざしで保育証書を受け取る姿に小学生になることへの自覚と期待が感じられ、胸が熱くなりました。保育園生活も残り 1 か月となりましたが、大好きな仲間や保育士と一緒に思い出に残る日々を過ごしてほしいと思います。

先日ホールからピアノの音色が聞こえてきたので覗いてみると、0 歳児、1 歳児クラスと一緒にリズムをしていました。0 歳児は保育士の動きを模倣しながらトコトコ歩いたり両手を伸ばしたりしています。1 歳児はピアノの曲を聴くと何の動きをするか分かっていて、どんぐりの曲が流れると子どもたちはどんぐりになりきってコロコロと横転しています。月齢差の大きい年齢ですが、それぞれが出来る動きをしながらリズムを楽しんでいる様子が伝わってきました。どのクラスの子どもたちもこの 1 年の間に自分らしくのびのびと育ち、友達と関わりながら遊びの中で経験したたくさんのが心と体の栄養となり成長に繋がっています。卒園、進級までの 1 か月を子どもたちが新年度への期待を持ちながら安心して楽しく過ごせるよう保育を進めていきたいと思います。

今年度も保護者の皆様には日ごろの保育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

今月の予定

卒園式
 お別れ遠足
 クラス移動日
 お別れ会
 中旬 避難訓練・身体計測



ひな飾り製作の紹介



もみじ組 (3歳児クラス)

着物は自分で好きな色を選んで染めました。顔を描き、髪の毛などのりで貼りました。



いちよう組 (4歳児クラス)

画用紙を短冊に切り、輪にして体を作り、着物は千代紙で貼りました。



ぽぷら組 (5歳児クラス)

着物は自分でイメージして花紙を巻き、帯の部分はちょうちょ結びをしました。



一年間の成長した姿



つくし組(0歳児クラス)

入園したばかりの頃に比べ、這い這いや歩いて自分の行きたいところに行けるようになった子どもたち。保育士との関わりの中で“ここは安心できる場所”ということを感じ、そこから興味があるところへ“あっちへ行ってみたい”という思いにつながってきました。“何かな”と不思議に感じ“触ってみたい”“やってみみたい”と心も体も動く姿に保育士も共感する中で様々な経験をして大きくなりました。



たけのこ組(1歳児クラス)

たけのこ組は一年間でたくさん歩けるようになりました。初めの頃は「先生と」と言って保育士と手をつなぎたがった子ども友達と一緒に手をつなぐようになりました。園周辺の小道の散歩を繰り返し歩いたことで歩ける距離も長くなり三角山公園や碑文谷グランドにも行けるようになりました。公園でかくれんぼや追いかっこなどで遊んでも帰ってこられる体力がついてきます。これからも楽しい経験を通して歩く力をはぐくんでいきたいと思います。



どんぐり組(2歳児クラス)

進級した頃は、まだまだ一人で好きな遊びを楽しむ姿が多かったどんぐり組の子どもたちですが、今では友達と一緒に遊ぶ事も大好きです。「一緒に〇〇しよう」と友達を誘ったり「今日は〇〇君と遊ぶ」と一緒に遊びたい友達を見つけたりして日々の遊びを楽しんでいます。遊ぶ人数も最初は2~3人と少なかったのですが、今では全員でむっくりくまさんやしっぽとりも楽しめるようになりました。残り少ないどんぐり組での生活ですが、友達と一緒に遊ぶ楽しさをたくさん味わうことができるように過ごしていきたいと思います。



もみじ組(3歳児クラス)

「今日は何して遊ぶ」「お家ごっこしようよ」「私も入れて」と、子ども同士で自然と遊びが始まります。この一年で友達の存在が大きくなり、一緒に遊ぶ楽しさをたくさん感じてきました。思いがぶつかり、葛藤する事も経験してきましたが、お互いの思いを伝え合う事を繰り返してきました。今では自己主張をしながらも相手の話も聞いたり、楽しく遊ぶための方法を考えたりできるようになってきました。これからも友達との関係が深まり、遊びが広がっていくのが楽しみです。



いちよう組(4歳児クラス)

友達との関わりが増え、同じ遊びをしながらも自分の気持ちを泣いたり、強い口調で主張したりして解決しないことが多かった春でした。日々、たくさん友達と関わり、自分とは違う考えや思いがあることに気づいたことで、お互いに自分の気持ちを言葉にしてから遊びを進められるようになりました。今では、活動の中で子どもたち自身が考えたり決めたりすることが増えました。楽しい活動の中で友達と一緒に様々な挑戦や経験をすることで、より一層友達とのつながりを感じることができ、共に育ちあう姿に成長を感じています。



ぽぷら組(5歳児クラス)

友達の考えに「それもいいね」と認め合いながら、同じ目標に向かって力を合わせることを楽しめるようになりました。先日、他園とのドッチボール大会後、負けてしまい“勝つためにはどうしたらいいか”の話し合いになりました。意見を出し合い作戦を考え、その後の試合には勝つことができ、嬉しさを共に感じていました。自分の考えだけでなく、友達と一緒に考えて協力したからこそ感じられた喜びが皆の自信になり、仲間としてのつながりをより深めています。

